

2021年度 中京大学チャレンジ奨励金 最終報告書

2022年2月8日

学科・学年 経営・3年

氏名 ダオティニン

1. プロジェクト名 Japanese for you ～故郷の子どもたちに学びを～
2. 活動期間 2021年7月6日 ～ 2022年1月31日
3. 主な活動場所 中京大学名古屋キャンパス、瑞穂生涯学習センター、
オンラインZOOM
4. 参加者 別紙添付
5. 予算・使用経費等

費目	内容	予算金額	執行金額
備品費	CD ラジオ	14,000 円	12,800 円
消耗品	・教材 ・情報センター印刷ポイント	51,940 円	14,710 円
交通費	協力者の交通費	202,500 円	14,750 円
施設使用料	瑞穂生涯学習センター	60,000 円	9,600 円
支払報酬手数料	外部講師謝礼	50,000	0
その他	お弁当代	81,000 円	19,011 円
合計		459,440 円	70,871 円

6. 奨励金以外でかかった主な経費等

使用時期	使用用途	金額
特になし		

◆プロジェクトの当初予定していた活動内容

・日本語教室について

毎週日曜日、生活の日本語に困っている在日ベトナム人向けのボランティア日本語教室を中京大学名古屋キャンパスで実施します。生徒の日本語のレベルによって初級クラス、中級クラスと会話クラスの3レベルを分けて授業を行い、授業終了後も、学生の質問(日本での生活面など)や相談を受け付けるなど勉強だけでなく生活面でもできる限りサポートをしていきます。

・運営協力金と金銭の取り扱いについて

生徒1人につき月額500円の運営協力金を受け取ることにします。この運営協力金は活動へ協

力の呼びかけですので、強制でなく、任意の「趣旨に賛同した寄付金」を実施します。

・中京生の工藤夢生さんの空の口座を運営協力金の保管場所とします。PJリーダーと経理担当協力者はこの金銭を管理する責任があり、中間報告と最終報告で大学に報告すること。

・ベトナムへの支援について

集めた運営協力金は一般社団法人 BETOAJI を通じて、ベトナムの山地方や国境線にある貧しい村の子供たちへの支援に充てること。

◆中間報告時に抱えていた課題への対応結果

・コロナ感染拡大の影響でオンライン式授業に変更し、WIFI 接続不安定などの問題がありました。

→ Zoom 以外、Google meet や Messenger も試しましたが、あまり変わりませんでした。解決できないまま状態です。

・協力者数が少ないのでメンバーが忙しい時には4教室の運営は大変です。

→ SNS を利用して、協力者を増員することができました。(当初 11 名→18 名)

◆プロジェクトの目標達成度合い (活動内容や到達レベル等を具体的に記入してください。成果物があれば、添付してください。)

目標

・在日ベトナム技能実習生・家族滞在などの方々の日本語能力を上達させ、日常会話が困らないように日本語勉強を促進し、支えていくこと。

・BETOAJI に運営協力金を寄付することにより、ベトナムの貧しい子どもたちに奨学金を授与し、学びのチャンスを繋げること。

達成状況

・7クラス(会話レベル×2クラス、N3レベル×2クラス、N4×1クラス、N5×2クラス)を実施しており、愛知県内に住んでいる生徒だけでなく、茨城県や大阪府など他の地域に住んでいる方も勉強に来ました。ただ、実感できることは、最初こそネットで生徒募集はしましたが、後半ではクラスの生徒が友達を誘い、口コミでみんなが集まるようになりました。授業をオンライン式に変えたばかりの時は参加者が18名いましたが、これに対して1月31日時点では32名が参加し、12月以降は特に募集活動はしていませんでしたが14名増の32名に参加頂きました。

一方、プロジェクトの後半は他の活動(就職活動、在日ベトナム人学生青年協会東海支部 VYSA のイベント等)が忙しくて、中間報告後から実施した Facebook のページの情報発信などがあまり進まないのと、クラス全体のスケジュールを調整しただけで、ほとんどの授業は協力者に依頼し、プロジェクトに全力を尽くせなかったことが反省点です。

また、PDCA を実施するためのアンケートについても、最終的に実施ができず、残念ながら生徒の日本語上達度の把握ができませんでした

しかし、このプロジェクトを通じて勉強意欲強い生徒とボランティア活動に参加したい協力者の架け橋になり、誰かを支えていき、人と人の繋がりができたことは、今後につながることで実感しました。

・参加者からの参加費により「40,500円」の運営協力金を受け取り、100円の振り込み手数料を引いて BETOAJI に40,400円を奨学金として寄付することができました。

自己評価による達成度 70%

◆改善点、やり残したこと

・プロジェクトの Facebook ページを作成し、主に日本語の文法や語彙などを発信する予定でしたが Facebook のページ作成後、あまり発信することができませんでした。

・プロジェクト寄付金活動に繋がるベトナム旧正月のイベントを 1 月 30 日（日）に中京大学で開催する企画をしましたが、当日施設借用ができずに本学で実施できなかつたのが残念です。イベントは VYSA 開催にて別の施設（安城）で実施しましたが、新型コロナ感染者急増中の折、中京大学の協力者が各々の事情で参加ができませんでした。私だけは何とかプロジェクトと旧正月イベントに繋げようと努力しましたが、大学での実施ができなかつたこともあり、イベントでの募金活動を断念しました。

◆今回のプロジェクトを実施したことにより、どのような気付きを得たか

（例えば、成果の活用・利用について、次回のプロジェクト活動に向けての抱負、卒業してからの展望等、自由に記入してください）

2 年目継続のプロジェクトであり、前年度より活動は一層発展させていきました。1 月 31 日までチャレンジプロジェクトとしては終了しましたが、生徒から続けてほしいと声をかけてくれましたので、中京大学の学生プロジェクトとしては終了しても、プロジェクトはまだ続けていきます。学生時代にこんなボランティア活動を通じて時間調整のトレーニングやたくさん熱心な方々と出会う機会があり、充実する学生生活を送っています。現在は一時帰国中ですが、実家は山のほうであり、現地の生活と日本の生活の差は強く感じて、自分がやっている活動は少しでも故郷に貢献できていると思います。大学卒業後、社会人になっても自分の活動の経験を活かして、地域の発展に活躍していきたいと思っています。

◆次回チャレンジしてみたいこと

当面この規模を維持継続し、教室は継続します。就職活動終了後は、社会人になっても地域の発展に寄与していきたいと考えています。

◆チャレンジ奨励金制度を活用したい学生へのアドバイス

これから新しいことに挑戦したいみなさんも是非チャレンジ奨励金制度を活用して、大学生活を充実させてください。

◆実施結果（成果）

※必要に応じて写真・現物添付可。枠欄が足りなければ、追加してご記入ください。

連携団体

中京大生のボランティア日本語教室プロジェクト

「Japanese for you」
～故郷の子どもたちに学びを～



BETOAJI 奨学金受給の子どもたち



月～土 週一回以上 (21:00-22:30)

オンライン Zoom, Messenger, Skype など

教室参加者に呼びかけ、一人につき月額500円の寄付金を集め、ベトナムの貧しい子ども達に奨励金を授与。



外国人に日本語を教える
ネイティブボランティア募集中
(資格不問、未経験者歓迎)

協力者
募集中





感謝状

「Japanese for you ～故郷の子どもたちに学びを」プロジェクト 殿

貴財団はBETOAJI活動に対して深いご理解と多額の寄付を賜りました
よってここにそのご厚意に対し深く感謝の意を表します

2022年01月31日

一般社団法人 BETOAJI

